

永眠者記念日礼拝

2024年11月3日 午前10時30分

司 式 細井宏一伝道師
奏 楽 奏楽奉仕者
配 餐 細井宏一伝道師

前 奏		
招 き	「灯をともしいなさい」	ルカ12:35
頌 栄	21-6番	一同
交 読	詩編 91編	一同
聖 書	ルカによる福音書 第10章25~37節	(新)p.126
祈 禱		
讃 美 歌	21-484番	一同
使徒信条		一同
讃 美 歌	21-385番	一同
説 教	「祈りから始まる隣人愛」	牧 師
聖 餐 式		牧 師
讃 美 歌	21-81番	一同
献 金	困難にある人々への連帯を祈りつつ	
感 謝		献金奉仕者
主 の 祈	21-93番(5-A)	一同
讃 美 歌	21-91番	一同
祝 禱		牧 師
後 奏	(黙 禱)	

【2024年度年間聖句】

わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させて下さったのは神です。(1コリント3:6)

【今週の祈り】

- ・能登半島地震の被災者・被災教会のために。
- ・病や困難の中にある友のために。
- ・北備伝道所と石原等牧師のために。

【本日の礼拝】

- ・9:40-10:20 教会養育(担当:三原牧師)
- ・10:20-10:30 礼拝準備祈禱会
- ・10:30-11:45 主日礼拝
- ・11:45-11:55 讃美歌練習(担当:奏楽奉仕者)
聖書通読、士師記6章(旧)p.389
- ・11:55- 「お茶の会」どなたでもどうぞ

【今週の集会】

- ・聖研祈禱会 11月7日(木)10:30~11:30
マルコ 3:1~6 (新)p.65

【次主日の案内】

- ・降誕前第7主日礼拝 11月10日 10:30-11:30
- 司 式 : 細井宏一伝道師
- 交 読 : 詩編 92編
- 聖 書 : ルカ15章11~32節 (新)p.139
- 説 教 : 「神様のもとにいる幸せ」三原牧師
- 献 金 : 献金奉仕者
- 奏 楽 : ヒムプレーヤー
- 讃美歌 : 21-57(ガリラヤの風かおる丘で)
21-280(まぶねのなかに)
21-451(くすしきみ恵み)
- ・讃美歌練習、聖書通読(士師記13章)、愛餐会
- ・11月役員会 (愛餐会后)役員の方はお残り下さい

聖徒の日・永眠者記念日(11月第一日曜)

死者の埋葬の後で、時を定めて死者を埋葬することは、初代教会の時代から色々な形で行われていました。カトリック教会では「死者のためのミサ」…その典礼の最初の部分の入祭文が「レクイエム・エテルナム」(永遠の休息を)という句で始まるので、普通レクイエムと呼ばれる…そしてプロテスタント教会では記念会と呼ぶ集会を行うのが普通です。これら個人の記念日は日本の通常の家で行われる法事と呼ばれるものにあたります。しかし、お盆やお彼岸のような、死者一般を覚える日として聖徒の日(諸聖徒日)があります。

基本的にキリスト教では、すべての死者は、既に、神の手の中に抱かれているので、死者が迷わず成仏するようにとか冥福を祈るといった考え方はありません。だから死者を覚えるとか、記念するという言い方をします。プロテスタント教会一般では、11月1日にかえて11月第一主日を「聖徒の日」と呼んで、すべての死者を記念する日として礼拝が守られます。

■ 集会報告

- 【 教会 養育 】 10月27日(日) 男2、女3、計 5名
- 【 主日 礼拝 】 10月27日(日) 男3、女7、計10名
- 【 聖研祈禱会 】 10月31日(木) 男1、女4、計 5名

■ 献金報告

【 礼拝 献金 】 10月27日(日) 16,450円

◎ 10月13日役員会決定事項により、先週の礼拝献金と本日の礼拝献金、そして緊急募金(2,950円)を合わせて、能登半島地震・地震後の水害の被災者・被災教会へ復興のための義援金としてお送りします。(会計役員)

◎ 個人情報保護の観点から、牧師以外の礼拝奉仕者並びに献金者の個人名は伏せさせていただきました。当伝道所は、教会内外からの多くの方々の尊い献金によって支えられています。心から感謝申し上げます。

- 礼拝前は静かに心を整えましょう。
- 聖書にあらかじめ目を通しましょう。
- 祈禱中、礼拝堂への入場は待ちましょう。
- 礼拝後は、交わりの時を。